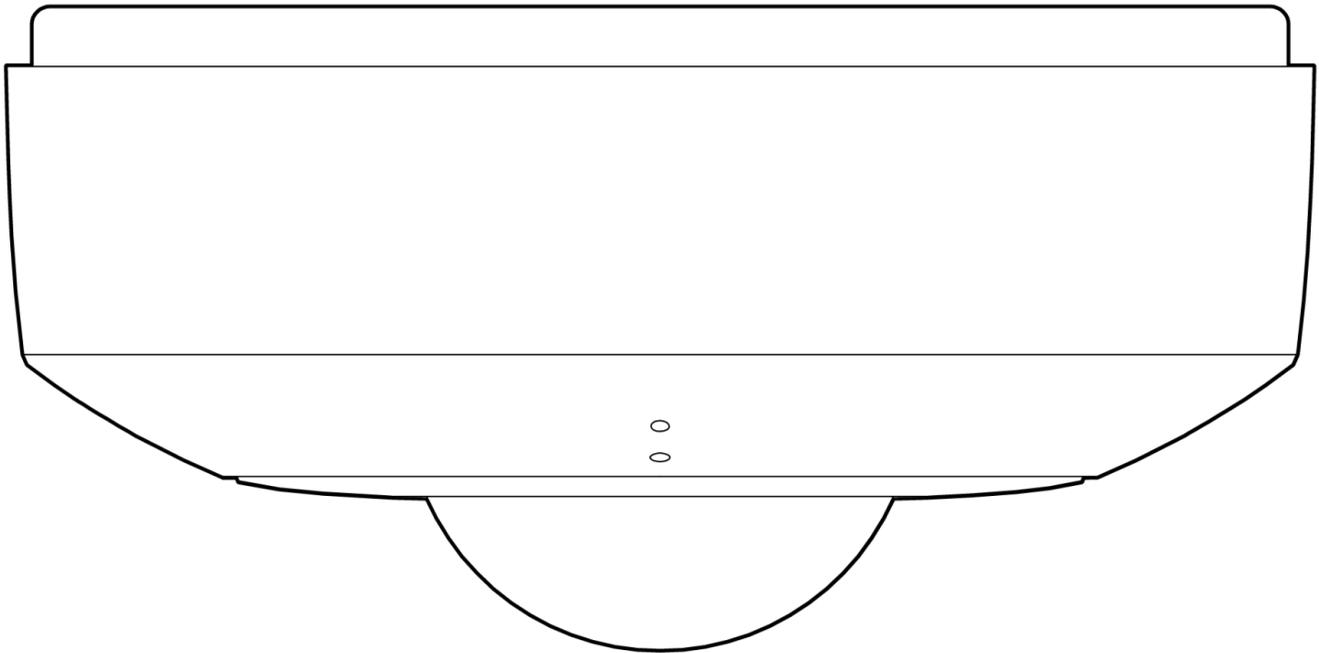


# CF83-E 屋外用Fisheyeカメラ



## ドキュメント

### ドキュメントの詳細

#### バージョン

**V1.2** 2024年9月30日

(V1.0: 2024年9月23日公開済み)

#### 製品モデル

この設置ガイドは、CF83-E-HWモデルについてのガイドです。



© Copyright 2024 Verkada Inc.無断複写・転載を禁じます。

VerkadaおよびVerkadaロゴは、Verkada Inc.(Verkada)の登録商標です。その他のすべての商標は、それぞれの所有者に帰属します。

Verkadaは、予告なしにいつでも本書を変更することができるものとします。掲載された情報は不正確または古い情報である可能性があり、Verkadaはこれを維持、管理する義務を負うものではありません。すべての情報は「現状有姿」で提供されており、明示または黙示を問わず、一切の保証をいたしません。Verkadaは、本書の使用に起因する直接的、間接的、特別、偶発的、懲罰的、または結果的損害を含むがこれらに限定されない、あらゆる損害に対する責任を負うものではありません。

Verkada製品に関する知的財産権は、すべて Verkadaの独占的な所有物であり、Verkadaに帰属するものとします。Verkada製品の使用に関しては、Verkadaのエンドユーザー契約または Verkadaとのその他の締結された契約に従うものとします。Verkada製品を使用または配布するための明示的または黙示的なライセンスは、本書により付与されないものとします。

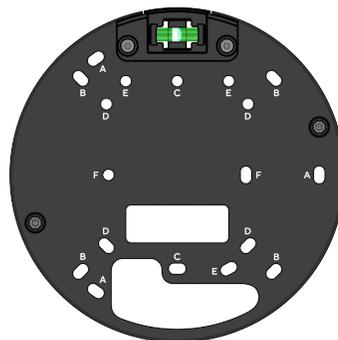
このドキュメントは、Verkadaの事前の書面による同意なしに販売、再販、ライセンスを付与、またはサブライセンスを付与することはできず、譲渡することもできません。Verkadaの書面による明示的な同意がない限り、本書の全部または一部を複製することはできません。



## はじめに 同梱物1/2



屋外用Fisheyeカメラ



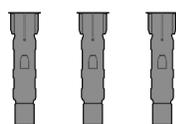
取付プレート  
(カメラに装着済み)



T10トルクスセキュリティドライバ



壁用ネジ(3本)  
長さ: 25 mm、直径: 4 mm  
ドライバ: #2プラスドライバ



壁用アンカー(3個)



ケーブルグランド(1個)  
サイズ: 6.5~7.5 mm



ケーブルグランド(1個)  
サイズ: 5.0~6.5 mm  
(カメラに装着済み)



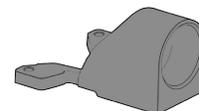
マシンネジ(2本)  
長さ: 50 mm、ドライバ: #2プラスドライバ



ワッシャー(2個)



ウイングナット(2個)



コンジットアダプタ

### 必要なもの

- 有効なインターネット接続
- 802.3af/802.3at POEパワーオーバーイーサネット (PoE) スイッチまたはPoEインジェクタ。-20°C未満で運用する場合は、802.3at PoEを使用します。
- スマートフォンまたはノートパソコン
- #2プラスドライバーまたは #2プラスドライバービット付き電動ドリル
- 壁用アンカー用の1/4インチ(6.5 mm)ドリルビット
- 下穴用の1/8インチ(3 mm)ドリルビット
- 3/16インチ(4.5 mm)マシンネジ用ドリルビット
- カテゴリ5またはカテゴリ6のイーサネットケーブル(外径が0.2~0.3インチ/5~7.5 mm)

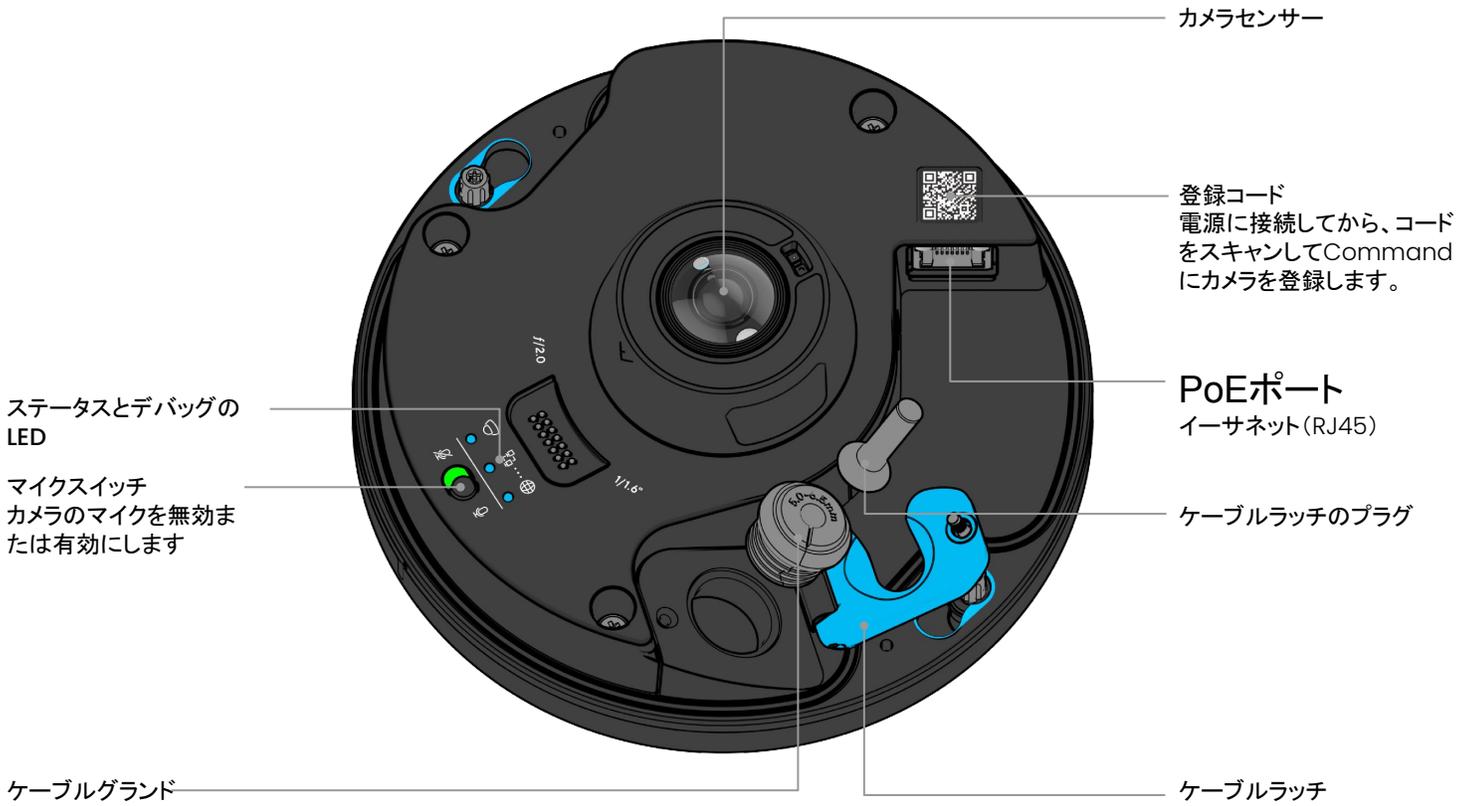
### 接続

製品のQRコードをスキャンすると、簡単に登録と設定ができます。

手動での製品登録をご希望の場合は、こちらのURLにアクセスしてください: [verkada.com/start](http://verkada.com/start)

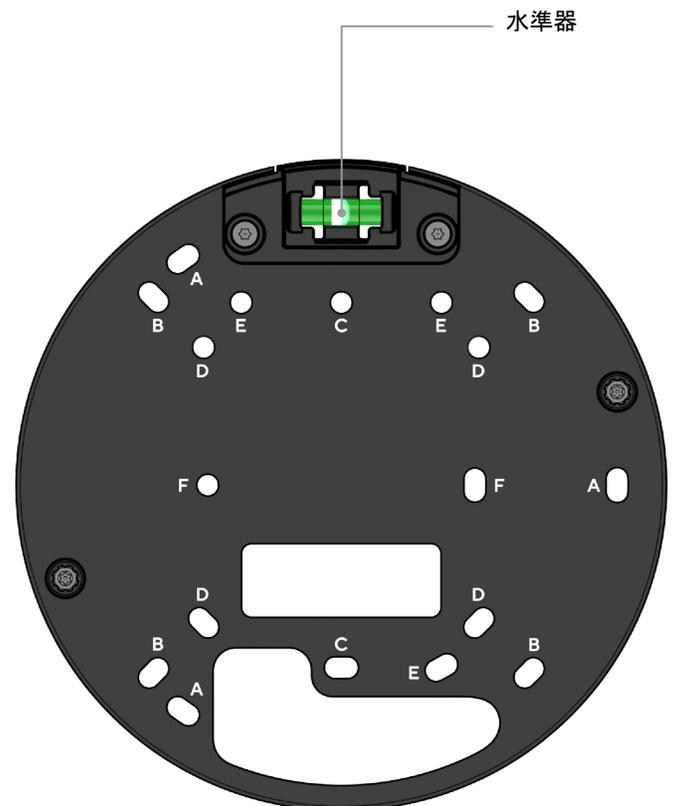


## はじめに 概要



## 取付プレート

- A 壁用マウント
- B 4インチの正方形ジャンクションボックス
- C シングルギヤング
- D 3.5インチの丸型ジャンクションボックス
- E ダブルギヤングジャンクションボックス
- F ヨーロッパ向けジャンクションボックス



## はじめに マイクスイッチ

マイクスイッチを使用すると、カメラユニットのマイクを手動でオフにして、音声録音されないようにすることができます。

音声録音はデフォルトで有効になっています。

音声録音を無効にするには、スイッチを左側に移動させます。

もしくは、Commandアカウントで音声録音を無効にできます。



マイクスイッチ

マイクが有効な状態



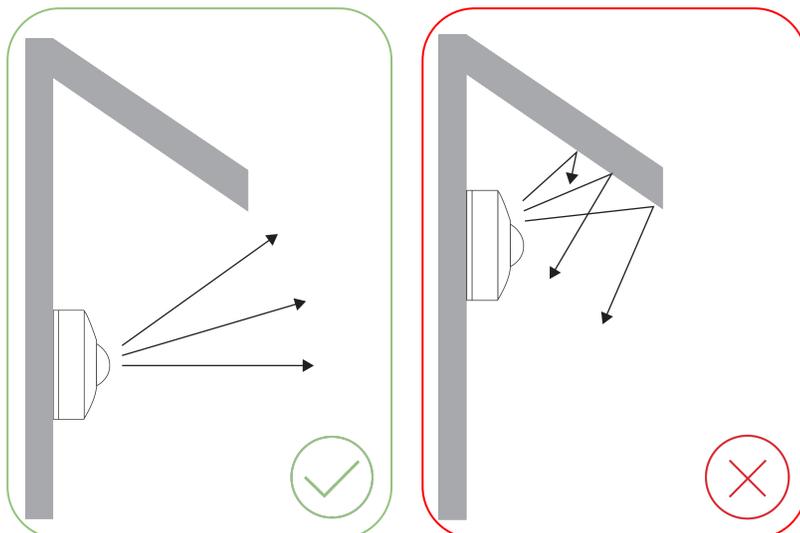
マイクが無効な状態



## 配置

カメラを壁または天井に取り付けます。カメラを地上2.4~3 m(8~10フィート)に保つようにしてください。

最高品質の夜間映像を取得するには、張り出しや障害物を避けてください。これらはカメラのIR照明を反射し、夜間モードでの画像の鮮明度を低下させる可能性があります。

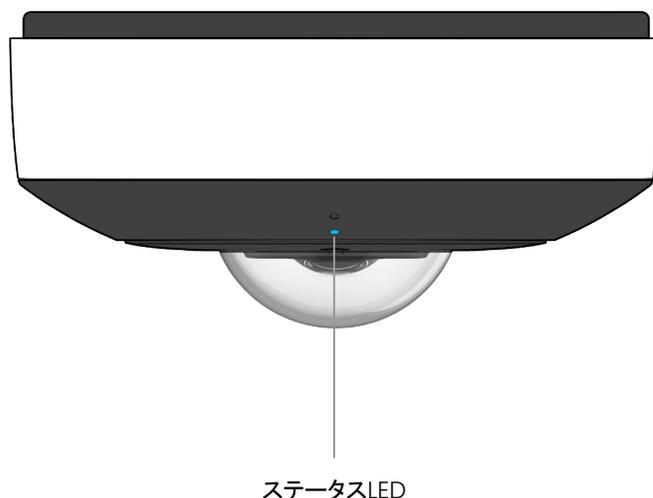


はじめに

## 外部LEDの動作

### 一般的な動作

- 青色の点灯  
カメラが起動し、接続され、データを記録しています。
- オレンジ色の点灯  
カメラがオンで起動中です。
- ☀ オレンジ色の点滅  
カメラがファームウェアを更新しています。
- ☀ 赤色の点滅  
特定のエラーを示しています。以下にある「ネットワークエラー」リストをご覧ください。
- 赤色の点灯  
サポートに連絡してください。



### ネットワークエラー

カメラのトップカバーが装着されている場合、外部のステータスLEDでエラーが伝えられます。LEDはエラー状況に応じ、点滅する回数が決まっています。

**1回の赤い点滅: IPアドレスがありません**  
カメラがIPアドレスを受信していません。

**2回の赤い点滅: IPアドレスが重複しています**  
カメラがLAN上で重複したIPアドレスを検出しました。

**3回の赤い点滅: ゲートウェイがありません**  
カメラが設定済みゲートウェイにアクセスできません。

**4回の赤い点滅: スイッチがありません**  
カメラはPoEに接続されていますが、スイッチに接続できません。



外部のステータスLEDが5回赤く点滅している例

**5回の赤い点滅: DNSのエラーです**  
カメラがVerkadaのホスト名を指定できません。

**6回の赤い点滅: NTPのエラーです**  
カメラがNTPサーバからの応答を受信できません。

**7回の赤い点滅: Commandに接続されていません**  
起動後にVerkadaのエンドポイントに到達できません。

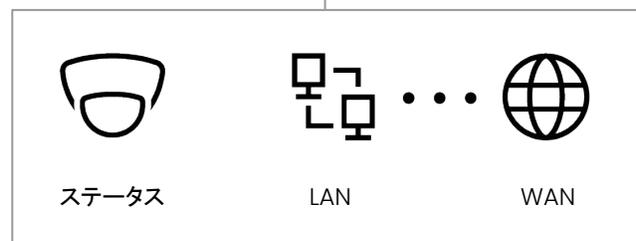


はじめに

## 内部LEDの動作

### 一般的な動作

- 青色の点灯  
カメラが起動し、接続され、データを記録しています。
- オレンジ色の点灯  
カメラがオンで起動中です。
- ☀ オレンジ色の点滅  
カメラがファームウェアを更新しています。
- ☀ 赤色の点滅  
特定のエラーを示しています。以下にあるリストをご覧ください。
- 赤色の点灯 (3個)  
サポートにご連絡ください



### ネットワークエラー (内部の「デバッグ」LED)

カメラのトップカバーを取り除くと、LANまたはWANのデバッグLEDで具体的なエラーが伝えられ、デバイスのステータスLEDは赤色に点灯します。



LANのデバッグLEDが2回赤く点滅している例

### LANのエラー

**1回の赤い点滅: IPアドレスがありません**  
カメラがIPアドレスを受信していません。

**2回の赤い点滅: IPアドレスが重複しています**  
カメラがLAN上で重複したIPアドレスを検出しました。

**3回の赤い点滅: ゲートウェイがありません**  
カメラが設定済みゲートウェイにアクセスできません。

**4回の赤い点滅: スイッチがありません**

カメラはPoEに接続されていますが、スイッチに接続できません。

### WANのエラー

**1回の赤い点滅: DNSのエラーです**  
カメラがVerkadaのホスト名を指定できません。

**2回の赤い点滅: NTPのエラーです**  
カメラがNTPサーバからの応答を受信できません。

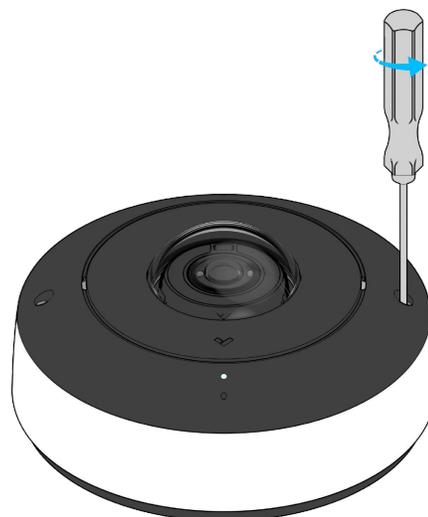
**3回の赤い点滅: Commandに接続されていません**  
起動後にVerkadaのエンドポイントに到達できません。



## 設置方法

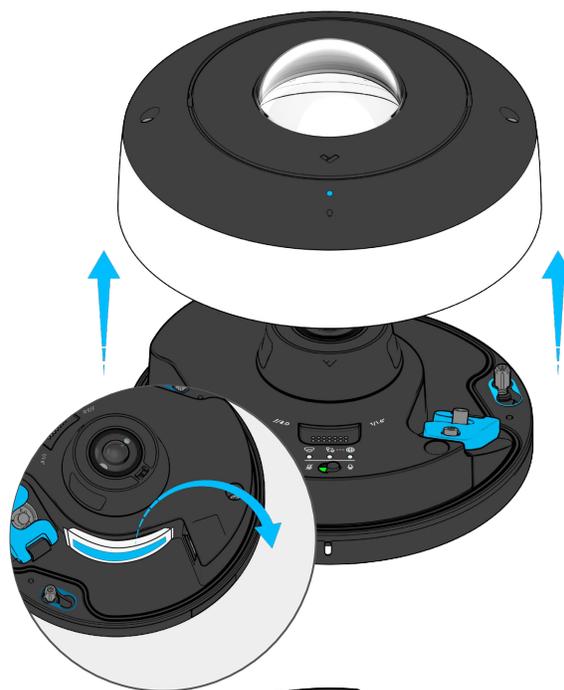
### 準備 1/2

付属のT10トルクスセキュリティドライバを使用してネジを緩め、カメラのトップカバーを持ち上げます。



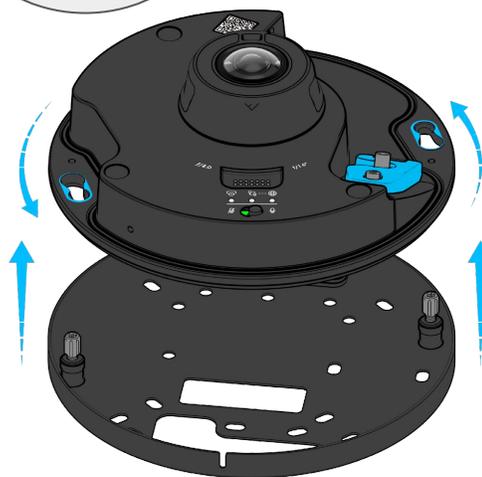
トップカバーを持ち上げてカメラから外します。

カメラの乾燥剤を取り外して廃棄します。



取付プレートを取り外すには、取付プレートのネジをT10トルクスセキュリティドライバで緩め、カメラを反時計回りに回します。

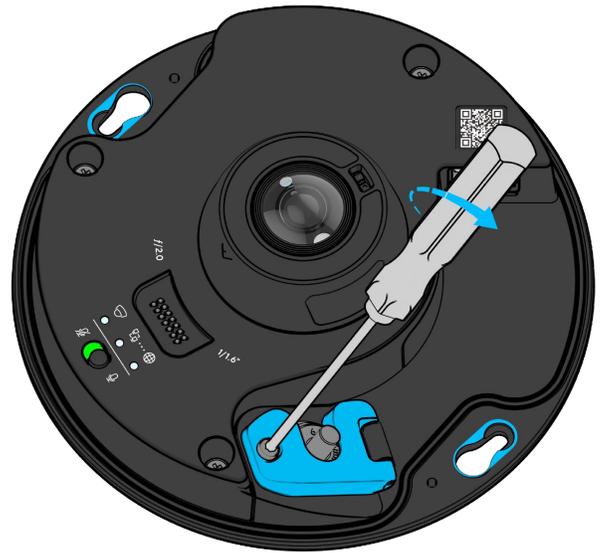
カメラを取付プレートから垂直に持ち上げて脇に置きます。



## 設置方法

### 準備 2/2

T10トルクスセキュリティドライバを使用してラッチのネジを緩めます。



ラッチを開きます。



ケーブルグラウンドを取り外し、脇に置きます。



## 設置方法

### 取り付け1/5

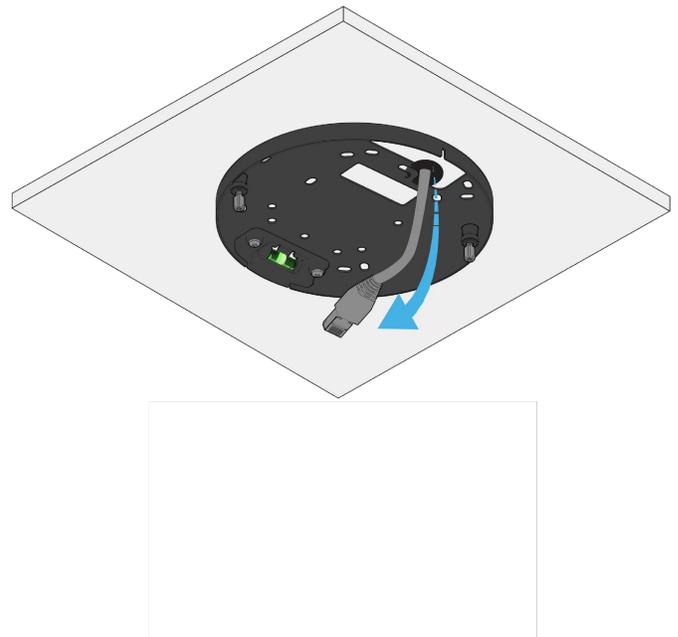
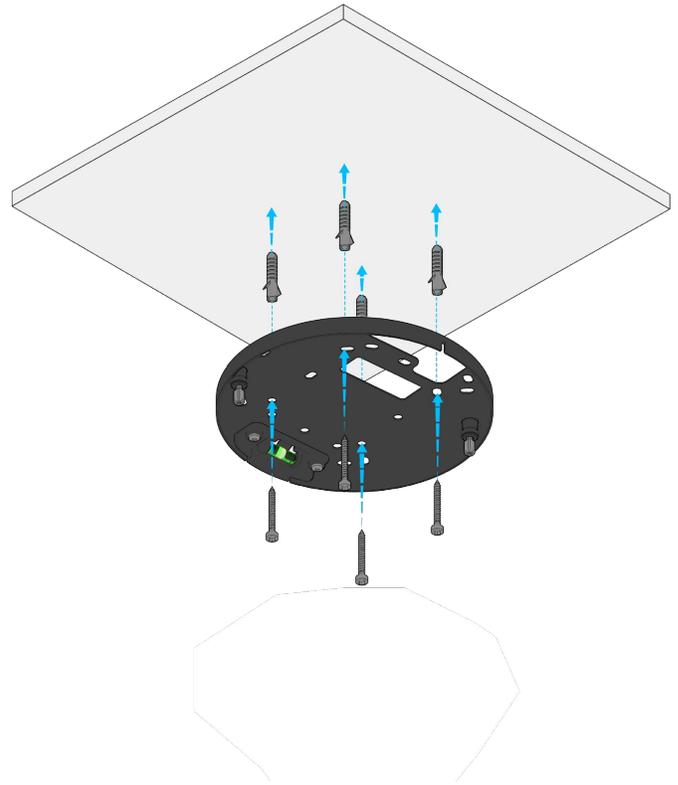
付属の取付プレートを使用して、壁取り付け穴に印を付けます。ジャンクションボックスに取り付ける場合は、取付プレートを使用して正しい穴の位置を決定します。

木材や金属などの固い素材の場合は、ドリルで1/8インチの下穴を開けます。取り付けネジをパイロット穴に直接打ち込みます。  
乾式壁の場合は、1/4インチの穴を開けます。プラスチックアンカーを穴に挿入し、取り付けネジをアンカーに打ち込みます。

壁に取り付ける場合は、取付プレートに装着されている水準器を利用すると、水平面を正しく設定できます。

接地ケーブルを追加する場合は、このドキュメントの「接地」セクションを参照してください。

イーサネットケーブルをケーブル用の穴に通します。



## 設置方法

### 取り付け2/5

青い穴をつまみネジに合わせて、カメラを時計回りに回転させます。



T10セキュリティドライバを使用してつまみネジを締め、固定します。



## 設置方法

### 取り付け3／5

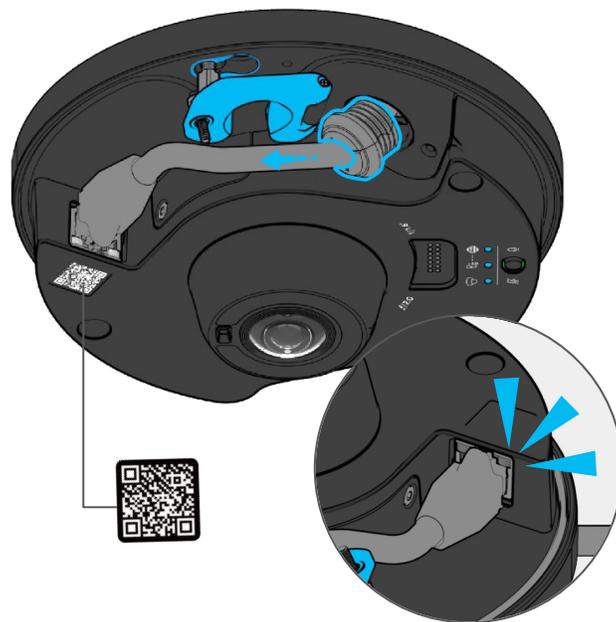
適切なサイズのケーブルグランドを選択して、イーサネットケーブルに巻きつけます。

イーサネットケーブルをカメラに接続します。

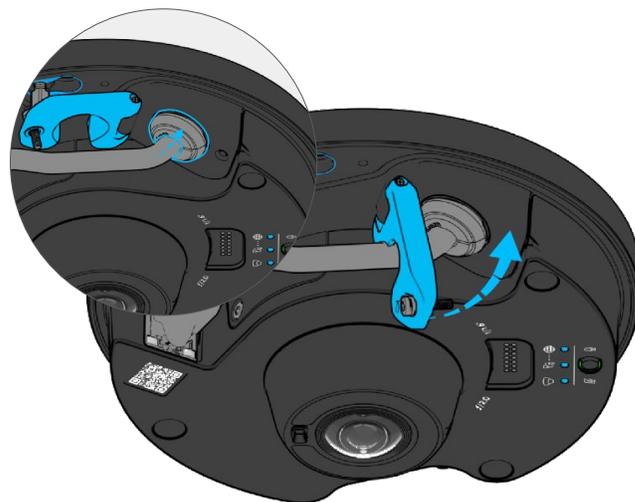
ケーブルグランドをケーブルグランドの穴に押し込みます。

隙間や開口部がないことを確認してください。

QRコードをスキャンして、Verkada Commandに登録します。



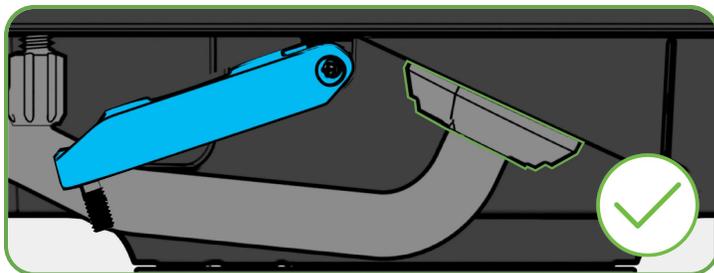
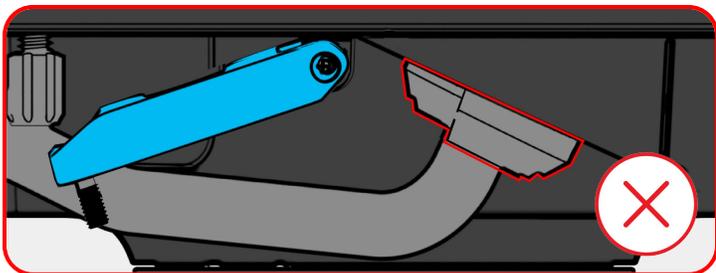
ケーブルがたるんでいる場合は、余分なイーサネットケーブルをケーブルグランドに押し込みます。



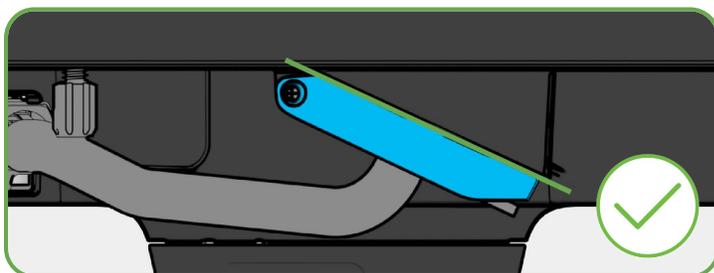
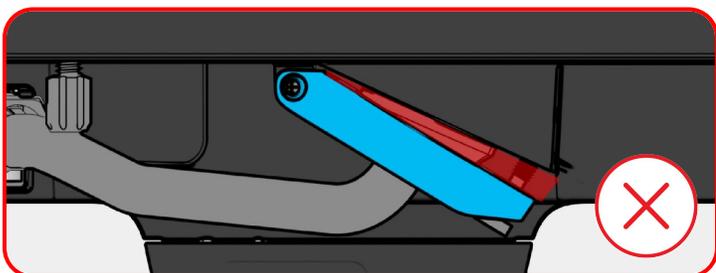
## 設置方法

### 取り付け4/5

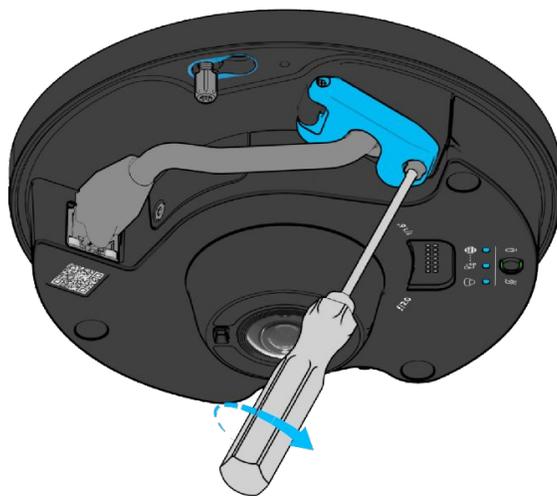
ケーブルグラウンドを所定の位置にしっかりと固定し、隙間がなく全体が密着していることを確認します。



安全ネジを締める前に、ラッチが完全に閉じていることを確認します。



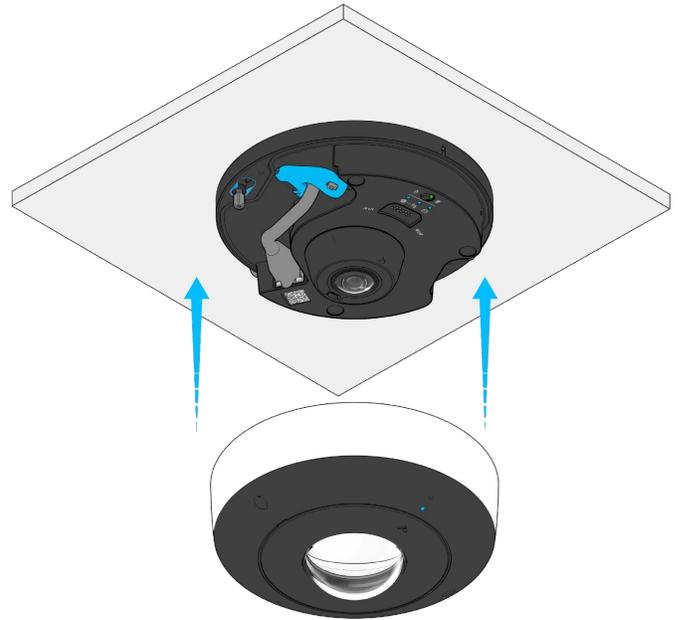
ラッチを閉じ、付属のT10セキュリティドライバを使用してイーサネットケーブルを固定します。



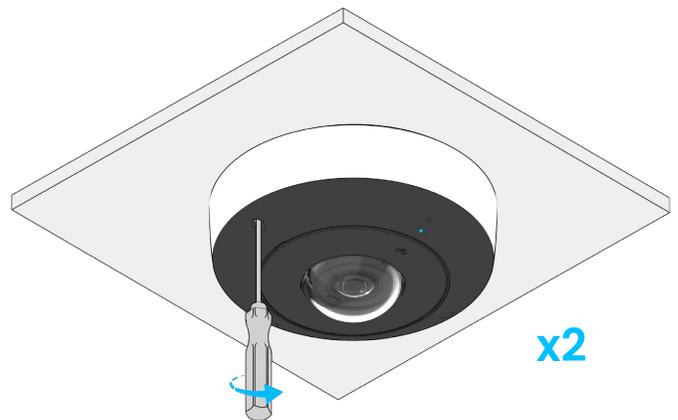
## 設置方法

### 取り付け5/5

トップカバーをカメラに押し当てて、所定の位置でキープします。



付属のT10トルクスセキュリティドライバを使用してトップカバーを固定します。



## 設置方法

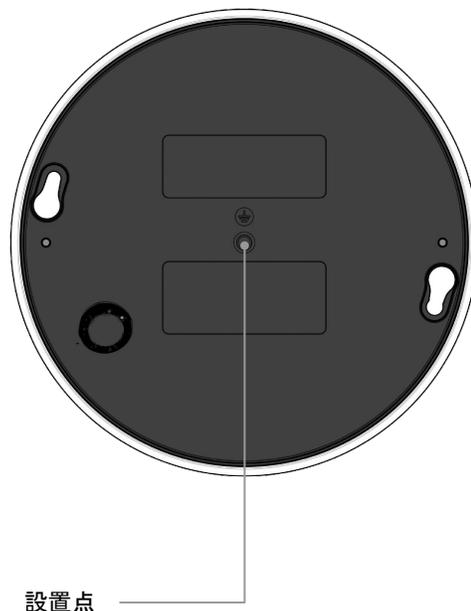
### 接地方法

カメラにアースケーブルを取り付けるには、次の手順に従ってください。

20 AWG以上の接地ケーブルをリング端子に合わせて、 $\frac{1}{4}$ インチ-20 x 0.25インチのネジ(付属していません)を端子に通し、右の図にあるようにデバイス背面のネジ付き接地点に差し込みます。

接地ケーブルのもう一方の端子をサーキットブレーカ、接地棒、またはアースに直接接続します。

このユニットは、UL規格ITEを介してPoEによって給電されます。



## CF83-Eコンプライアンス

警告	<ol style="list-style-type: none"> <li>1. メンテナンスおよび修理作業は、常に資格を持つ技術担当者が行う必要があります。メンテナンス作業を行うときは、ユニットの電源を切ってください。</li> <li>2. 機器を接地させる際に使用する配線方法は、National Electrical Code、ANSI/NFPA 70、およびCanadian Electrical Code、Part 1、CSA C22.1Iに従うものとします。</li> <li>3. 製品は、簡単に手が届かない場所、衝撃や激しい振動が発生する場所から離れている安全な場所に設置する必要があります。</li> <li>4. デバイスは外部の設備に接続するのではなく、PoEネットワークにのみ接続してください。</li> <li>5. 電源アダプタから電力を供給する場合、アダプタを適切に接地する必要があります。</li> <li>6. 電源アダプタについては、認定販売店にお問い合わせください。</li> </ol>
FCC 準拠	<p>このデバイスは、FCC 認証規則の第 15 部に準拠しています。操作には次の 2 つの条件が適用されます。(1) このデバイスは有害な干渉を引き起こさないこと、および(2) このデバイスは、望ましくない操作を引き起こす可能性のある干渉を含め、受信した干渉を受け入れる必要があります。</p> <p>この機器は、FCC 認証の規則の第 15 部に従ってテストされ、クラス B デジタルデバイスの規制に準拠していることが確認されています。これらの制限は、住宅への設置における有害な干渉に対して適切な保護を提供するように設計されています。この機器は、高周波エネルギーを生成、使用、放射する可能性があり、指示に従って設置・使用しない場合、無線通信に有害な干渉を引き起こす可能性があります。ただし、特定の設置状況において干渉が発生しないことを保証するものではありません。この機器がラジオやテレビの受信に有害な干渉を引き起こす場合(装置の電源を切ったり入れたりすることで判断可能)、以下の手段で干渉の修正を試みることを推奨します。</p> <p>受信アンテナの向きを変えるか、位置を変える。  機器と受信機の間隔を広げる。  受信機が接続されている回路とは別の回路のコンセントに機器を接続する。  販売店または経験豊富なラジオ/テレビ技術者に相談する。</p>
ISED 準拠	<p>このデバイスは、ISED のライセンス免除 RSS に準拠しています。操作には次の 2 つの条件が適用されます。(1) このデバイスは有害な干渉を引き起こさないこと、および(2) このデバイスは、望ましくない操作を引き起こす可能性のある干渉を含め、受信した干渉を受け入れる必要があります。</p> <p>Le présent appareil est conforme aux CNR d'ISED applicables aux appareils radio exempts de licence. L'exploitation est autorisée aux deux conditions suivantes : (1) le dispositif ne doit pas produire de brouillage préjudiciable, et (2) ce dispositif doit accepter tout brouillage reçu, y compris un brouillage susceptible de provoquer un fonctionnement indésirable.</p>

## 付録 サポート

この度はVerkada製品をお買い上げいただき、誠にありがとうございます。何らかの理由で問題が発生した場合、またはサポートが必要な場合は、24時間年中無休のテクニカルサポートチームにすぐにご連絡ください。

よろしくお願いたします。  
Verkadaチーム一同  
[verkada.com/support](https://verkada.com/support)

